

■令和3年度音楽研究科博士前期課程入試 実技試験内容及び課題曲

I. 作曲領域の提出作品

4曲以上（種類は問わない）の作品を提出してください。

II. 音楽学領域の研究計画書

音楽学領域の志望者は4,000字程度の研究計画を所定の様式で提出してください。

III. 声楽領域実技

- (1) アリアと歌曲の両方によって構成する10分以上15分以内のプログラムを組み、入学願書の「受験曲目」欄に【①作曲者名、②曲名、③曲ごとの演奏時間】を記入し提出してください。演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が10分未満の場合は失格とします。
- ※ アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。
 - ※ アリアは、オペラ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。
 - ※ 演奏はすべて暗譜でおこなってください。
 - ※ 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。
 - ※ 曲目は当日指定する場合があります。
- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。

IV. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

- 下記のa) b) c) を必ず含むピアノ独奏作品による40分以上のプログラムを用意してください。
- a) バロック時代の任意の作品
 - b) 古典派（J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethovenに限る）の任意の作品
 - c) ロマン派以降の任意の作品
- ※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。演奏曲目・演奏箇所を実技試験当日に指定します。
 - ※ a) b) c) はそれぞれ複数曲の選択も可。
 - ※ 暗譜で演奏してください。演奏をカットする場合があります。

V. 弦楽器領域実技

○ヴァイオリン

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005
より任意の1曲の Fuga。 原典版の使用が望ましい
- (2) 次のグループ(a)~(g)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
- (a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61
- (b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77
- (c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64
- (d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35
- (e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53
- (f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47
- (g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007~1011 より任意の Prélude を1曲。
使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)~(c)より任意の1曲の第1楽章。伴奏者を同伴してください。
- (a) W. Walton: Konzert 使用版は自由
- (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher” 使用版は自由
- (c) B. Bartók: Konzert (遺作) 使用版は自由

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 2 BWV1008、Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010
より任意の Prélude を1曲。 使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)~(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
- (a) J. Haydn: Konzert C-dur Hob. VIIb: 1
- (b) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2
- (c) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104
- (d) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129

○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) Hans Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo
よりプレリュード 使用版は自由
- (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
Serge Koussevitzky: Konzert fis-moll
Giovanni Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

○ハープ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。 使用版は自由

- (1) F. A. Rosetti: Six Harp Sonatas より Sonata 5（繰り返しなし）
- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien
(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

VI. 管楽器領域実技

(1) 課題曲

すべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。

なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

受験曲目については、フルート、バストロンボーンの曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

(2) 初見演奏

○フルート

(1)(2)共に暗譜の必要はありません。 使用版は自由

(1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G Major K. 313 全楽章

(b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D Major K. 314 全楽章

・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。

・演奏箇所は当日指定します。

(2) 自由曲（無伴奏曲も可）

・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。

・7分以上10分以内で演奏すること。カットして演奏することも可。

○オーボエ

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

(1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 第1、2楽章<カデンツァ付き>

(2) B. Britten: Six Metamorphoses after Ovid Op. 49 より当日指定

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K. 622
第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。
- (2) I. Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

○バスーン (ファゴット)

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。使用版は自由

- (1) F. Devienne: Sonata in F Op. 24 No. 3
1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto
- (2) E. Bozza: Récit, Sicilienne et Rondo

○サクソフォーン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Ibert: Concertino da camera 全楽章 Leduc 版

○ホルン

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 Es-dur K. 495 <カデンツァなし>
- (2) P. Hindemith: Sonate für Horn F-dur

○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Henri Tomasi: Concerto pour Trompette et Orchestre Leduc 版

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concertino in E \flat , Op. 4 Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) Vincent Persichetti: Parable for Solo Trombone Op. 133 Theodore Pressere Company 版
暗譜の必要はありません。

○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concerto (Concertino) in B \flat for Bass Trombone Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。
 - (a) J. S. Bach: Cello Suite No. 5 BWV1011 より Sarabande 使用版は自由
繰り返しありで演奏してください。
 - (b) F. Hidas: Meditation 使用版は自由
 - (c) Walter S. Hartley: Sonata Breve 全楽章 使用版は自由

○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) J. S. Bach: Sonate en Trio No. 1 BWV525 より第1楽章 Gerard Billaudot 版
(2) J. Horovitz: Euphonium Concerto 全楽章 Novello 版

○チューバ

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- Jan Koetsier: Concertino Op. 77 for Tuba and String Orchestra Editions Bim 版

VII. 打楽器領域実技

以下の **A 課題** または **B 課題** のどちらかを選択してください。

A 課題 以下の(1)または(2)と、(3)を演奏してください。

- (1)ティンパニによる楽曲 (12分程度、省略可)
(2)セットアップを含む楽器編成による楽曲 (12分程度、省略可)
(3)スネアドラムまたはティンパニによる初見視奏

- ・課題(1)または(2)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・ピアノ伴奏者が必要な場合は、同伴してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけます。
入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器を記入してください。

B 課題 以下の(1)、(2)を演奏してください。

- (1)マリンバによる、12分程度の無伴奏独奏曲 (省略不可)。暗譜で演奏してください。

(参考例) 向井耕平: Prelude and Allegro、A. Viñao: Khan Variations、
J. Schwantner: Velocities、R. R. Bennett: After Syrinx II

- (2)マリンバによる初見視奏

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- ・マリンバは本学所有のものを使用してください。(ヤマハ: YM-5100A)

■令和3年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題

西洋音楽史（作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域）

【試験問題】

- I 20世紀の前半から後半にかけて音楽がどのように変わったか、下記からひとつ選び、主要な作品を挙げながら自由に論じてください。文字数の制限はありません。
- (1) 鍵盤楽器
 - (2) 声楽を含む作品
 - (3) 管弦楽
 - (4) 室内楽
- II ベートーヴェンの生涯は、しばしば〈初期〉〈中期〉〈後期〉の3つの時期に分割されます。それぞれの時期に書かれた作品の特徴について、複数の作品を挙げながら説明してください。文字数の制限はありません。
- III 下記の年表の①～⑳に該当するものを次頁の選択肢（あ～へ）からひとつ選びなさい。

生没年	作曲家名	代表作
1567-1643	①	《オルフェオ》、《聖母マリアの晩課》
1632-1687	J. -B. リュリ	②
1668-1733	③	《王のコンセール》、《ルソン・ド・テネーブル》
1678-1741	A. ヴィヴァルディ	④
1683-1764	J. -P. ラモー	⑤
⑥	J. S. バッハ	《マタイ受難曲》、《ブランデンブルク協奏曲》
1685-1759	⑦	《リナルド》、《メサイア》
1732-1809	⑧	《天地創造》、《太鼓連打》
⑨	W. A. モーツァルト	《フィガロの結婚》、《ジュピター》
1770-1827	⑩	《ハンマークラヴィーア》、《ミサ・ソレムニス》
1786-1826	C. M. von ウェーバー	⑪
⑫	H. ベルリオーズ	《幻想交響曲》、《ローマの謝肉祭》
1810-1856	⑬	《ライン》、《ミルテの花》
1833-1897	J. ブラームス	⑭
1843-1907	⑮	《ペールギュント》、《叙情小曲集》
1862-1918	C. ドビュッシー	⑯
⑰	A. シェーンベルク	《浄夜》、《月に憑かれたピエロ》
1882-1971	⑱	《春の祭典》、《プルチネッラ》
1906-1975	D. ショスタコーヴィチ	⑲
1908-1992	⑳	《世の終わりのための四重奏曲》、《アッシジの聖フランチェスコ》

「生没年選択肢」 「作曲家名選択肢」

あ：1684-1725 け：A. ブロックナー
 い：1685-1750 こ：G. マーラー
 う：1717-1757 さ：F. クープラン
 え：1756-1791 し：E. グリーク
 お：1797-1828 す：I. ストラヴィンスキー
 か：1803-1869 せ：J. ハイドン
 き：1813-1901 そ：R. シューマン
 く：1874-1951 た：O. メシアン
 ち：F. シューベルト
 つ：L. v. ベートーヴェン
 て：G. F. ヘンデル
 と：C. モンテヴェルディ

「代表作選択肢」

な：《ファウスト交響曲》、《超絶技巧練習曲》
 に：《ドイツ・レクイエム》、
 《ハイドンの主題による変奏曲》
 ぬ：《調和の靈感》、《和声と創意の試み》
 ね：《優雅なインドの国々》、《イポリトとアリシ》
 の：《ペレアスとメリザンド》、
 《牧神の午後への前奏曲》
 は：《売られた花嫁》、《わが祖国》
 ひ：《魔弾の射手》、《オベロン》
 ふ：《アルセスト》、《ミゼレレ》
 へ：《ムツェンスク郡のマクベス夫人》、
 《レニングラード》

【出題の意図】

大学院での研究に必要な音楽史の基礎的知識を備えているかを問う。音楽史におけるさまざまな様式を認識し、それを歴史的な脈絡で捉えるための知識が必要とされる。

【解答】

- I (記述式問題のため、省略)
- II (記述式問題のため、省略)
- III ①と ②ふ ③さ ④ぬ ⑤ね ⑥い ⑦て ⑧せ ⑨え ⑩つ ⑪ひ ⑫か ⑬そ ⑭に ⑮し ⑯の
 ⑰く ⑱す ⑲へ ⑳た

音楽学 (音楽学領域)

【試験問題】

- I 次の文章を参考にして、音楽と歌詞／歌詩の関係について、論じてください。なお、文字数の制限はありません。
 (出典 小島美子『音楽からみた日本人』)
- II 次の(1)～(5)からひとつ選び、論じてください。なお、文字数の制限はありません。
 (1) 生演奏と録音
 (2) 原曲と編曲
 (3) 20世紀における聴衆
 (4) 21世紀における音楽文化
 (5) 音響にみるホールでの演奏と野外での演奏
- III 次の①～⑮のなかから10個選び、説明してください。
 ①Gesamtkunstwerk ②フランス風序曲 ③多感様式 ④Camerata
 ⑤Charles Burney ⑥basso continuo ⑦ritornello ⑧12音技法
 ⑨Johann Peter Salomon ⑩Sturm und Drang ⑪Tin Pan Alley ⑫American folk music revival
 ⑬薩摩藩軍楽伝習隊 ⑭ヨナ抜き音階 ⑮歌伴

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な基礎的知識および理解力、資料読解力、論述力を備えているかを問う。なお、西洋音楽史を中心に出题している。

【解答】(記述式問題のため、省略)

外国語〔英語・独語・仏語・伊語〕（作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域）

【出題の意図】

大学院での研究に必要な外国語の文献を理解する能力を備えているかを問う。外国語の文章の語句、節、文レベルの理解だけでなく、段落全体の論旨の展開を把握する読解力が必要とされる。また、解答に際しては原文の理解を正確な日本語で訳出することが求められる。

【出典】

〔英語〕・ Lehmann, A.C. et al. (2007). *Psychology for Musicians*.

・ Monelle, R.(2002). *The criticism of musical performance*.

〔独語〕・ Aus: Edwin Fischer: *Von den Aufgaben des Musikers*.

〔仏語〕・ Louis Jambou et Jean Mongrédien, « MUSIQUE, MUSICIENS », in : Lucien Bély(dir.), *Dictionnaire de l'Ancien Régime*, Paris, Presses Universitaires de France, 2006

・ Didier Francfort, « La lyre transalpine : influence musicale des immigrés italiens dans la société française », in : Stéphane Mourlane et Dominique Païni(dir.), *Ciao Italia ! Un siècle d'immigration et de culture italiennes en France*, Paris, Editions de La Martinière, 2017

〔伊語〕・ *Libretti d'opera per stranieri, La Traviata*, 1997, Bonacci

・ *Libretti d'opera per stranieri, La Bohème*, 1997, Bonacci

・ *L'italiano contemporaneo*, Paolo D'Achille, 2006, Il Mulino

外国語〔英語〕（音楽学領域）

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、語学的能力を備えているかを問う。

【出典】

〔英語〕・ Esther M. Morgan-Ellis, “‘Making the many-minded one’: Community Singing at the Peabody Prep in 1915.” *The Musical Quarterly*, Winter 2019

・ Michele Girardi, “Puccini, Giacomo (ii).” *Grove Music Online*.

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

（閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで）